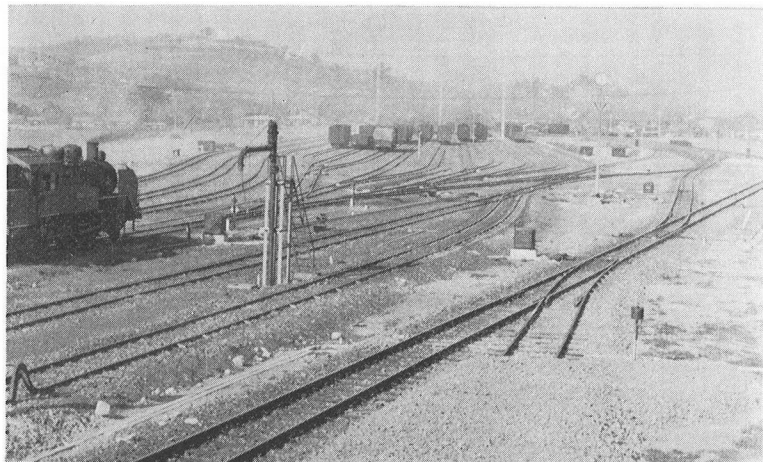


をつくるというのが高速自動車道法の考
え方ですから、われわれとしては、門司
から鹿児島までを結ぶ道路をしかも効果
を發揮する所から早くつくって貰いたい
と思っております。

ところで高速道路の姿ですが、これは
名神みたいに高架式のものとは違って、
平地におろした高速道路になるだろうと
思います。しかもその両側に側道を作っ
て、そこは普通の車が通れるという仕組
みになるようです。

それから空港の問題ですが、まず九州
に来るには熊本に入ってから各地方地
区に行くようなイメージをつくりたい。
というのは今空港として一応形を整
えているのは、鹿児島と宮崎くらいで、
これも今ほとんどん拡張しています。こ
ろで板付空港は軍用基地ですから、民間
利用をお願いするより仕様がな。そこ
で熊本空港の現在の滑走路を拡張して、
少なくともパイカントが発着できるよ
うに拡張することが熊本県の発展の所以
ではなからうかと思うのです。熊本に着
いて、それから飛行機を乗りかえて鹿児
島、宮崎、大分、長崎、福岡、北九州へ
というような航空上の交通体系をつくれ
ないだろうかというのが私の大きな夢な
んです。

航空路「東京⇄熊本」 一時間」の直行に…



鉄道の複線化・電化は本県にとって画期的な意義をもつ。新産都市の建設はまず輸送力の増大にかかっており、今年には熊本までの電化が、そして42年には複線化の方も完成するはずである。新産都市の指定ということ
が、国鉄の開発計画に大きく影響していることは見逃がせない。☆写真は熊本駅白川線車場

飛行機に乗る人というのはひと
にきりの人種ではないか。その飛行場を
つくって熊本県の産業や経済にどのよ
うな形で効果をもたらすのか…というふ
うに考える人も多いのですがこの点は
いかがですか。

村田 経済活動は急ピッチで動いて
いますから、それに即応するような交通施
設というものはぜひ必要なんです。住
民個々の日常生活からいへばそれはどの
切実感がな。としても、経済活動、社
会、文化活動の現実のピッチに合わせた
交通条件を整備することは必要です。
熊本まで東京から一時間ちよつという
ことになる、非常に重要な立地条件にな
るわけですね。

河端 例えは熊本に工場の進出をした
いと思っている人がいる。ところが社長
とか上役になるとなかなか忙しい。熊本
までだと汽車に揺られて二十時間もかか
る。しかも二、三日は宿泊せねばなら
いとなるとつらい。おっくうになつて考えを
伸ばす。結局、近い所に適地があればそ
こに考えを移す。ところが東京から直行
だと熊本までパイカントで一時間から
出かけるよ、ということがなる。

いわゆる南はるかな九州の果てという
イメージを打ち消す唯一のものだとい
うわけですね。

「一町村一工場をスローガンに

— 一般の大坂で行なわれた取引懇
談会などでも、工場の進出が、また話題
になったとかです。

栃光が

熊本労働力の見本

河端 今の工場の米かなの傾向ですが
ね。まず第一に、県が政策を切り替えた
ことが、根本的なものですが、かつては
農村の二三男対策として、県外に送り出
すことをもって県とは逆でした。それを
切り替えて、新産都市の指定を受け、こ
れから工業県として発展していくんだ
と、そのためには労働力が県内に確保し

△△ 井 課 長▽



なければならぬという方針に変わった
です。つまり、各工場が、労働力を求め
て、各出先機関に集中してきていたもの
を、今後、労働力がご入用ならふんだん
にある当方へおいでなさいというわけ
ですね。これが第一の原因です。

それから、次に、その土地、土地の条
件というのがある。例えば、球磨にし
ても、単に労働力だけを求めて来たの
はありませぬ。球磨川沿岸一帯の湿度が
非常に織物工業に適した条件にあるとい
うわけです。一般には、工場内に、湿度
の調整装置を設ける必要があるのです
が、球磨の場合、殆んどその必要がな
い、適地なのです。さらにもうひと
つ、連鎖的な反響を呼んでいるというこ
とです。どこかの企業がひとつでも来
ると、いい土地だということ、次々
へと波及していくんですね。
大都市のせせこましい土地を無理算
段するよりも、ひとつ行つてみないか
と誘いかけが行なわれるんですね。い
ま球磨に入つてきているものは、連鎖
反応の影響です。

人情は良いし、土地も安く労働力の
質は非常に良いというわけですから、
労働力の質はどんなものですか、と
聞かれたとき、私たち、よく栃光を引

き合いに出すんですよ。

非常に真面目な、コッソリ
と頑張る努力型の人。
栃光が熊本労働力の質の
典型だといふんです。

ま、いずれにせよ、その
土地柄、人柄というもの
が出てくるのですから地
元側の受入態勢が整え
ば、一町村一工場を目標
にやってみれば非常によ
いと思ふんです。一工場
というところは五十人から
二百人程度のもんです。
昭和四十年から先は一町
村一工場というスローガ
ンの下に工場誘致に努力
して見たらどうかと思
うのです。人口一万人の
ところでは二百人から三百
人程度の工場が一番適し
ているのではないでしょ
うか。

先ほどの球磨のような
例もありますので十分に
認識して、一町村一工場
写真は熊本空港

